

■基本目標1

②中核となる町内会や各団体との事業の連携

- ・町内会と各団体との事業に会社等も含めて除雪のあり方を考えてはと思った。

③町民フォーラム

- ・町外の方も参加してもらい、町づくりを考えてみてはどうかと思った。
- ・町民フォーラム63名の出席、福祉について考える良い機会であると思う。月形の人口は思ったより早く減少している。町も議会も真剣にならなければならない。フォーラムを通して良いアイデアが出る。
- ・「⑨世代間交流」も含めて、町民フォーラム等人が集まる事業。やはり人は集まるが、出てくる人は同じようなのが気になる。能力があるが力を発揮できる場がない、またはその場があることを知らない。

⑥小・中・高校生における福祉総合学習

- ・小学校1年生の「あずまし茶屋参加者との交流」にミュージックファミリーの一員として参加し、元気の良い子供達と楽しく歌を歌った。
- ・令和5年は、小学生のみの開催だったので、将来を考えていく中学生・高校生にもう少し行っていくといいと思う。
- ・「⑥・⑦・⑨」合わせて、小中高生がボランティアに参加する事はとても良い事なので、土日祝などの定期券が使用できない時の交通費を検討してほしい。交通費が負担となり、せっかくの意欲が折れてしまわないよう最善策を検討してほしい。
- ・実施内容には小学生には実施できているが、中学生に実施できなかったのはなぜか。

⑦ボランティアスクール

- ・ボランティアスクール(夏)に参加し、ごみの量の事等を教えてもらいとても勉強になった。
- ・「⑦・⑨・⑫」合わせて、担い手や人材不足、この課題は大きいと考える。

⑨世代間交流会

- ・どうして参加者が増えたのか知りたい。
- ・世代間交流会はとても充実されていると思う。
- ・世代間交流会は、老人クラブ員の若返りでも有り、楽しみにしている。(参加者少ないが)特にスマホ教室は、難易度の高い方でなく基礎を何回も実施してもらいたい。
- ・世代間交流やサロン等の実施回数がコロナ前に戻りつつあり良かったと思う。特に高齢者は集いの場が大事。

⑩地域での顔の見える付き合いづくり

- ・自主運営が出来ている事は大変評価できると考える。
- ・地区サロンの自主運営が出来ている事がすごく良い。参加者の居場所になっているのが良い。
- ・サロン内容が参加者からの声で決定されているのはとても良いことだと感じた。その

自主性が問題や課題の解決につながっていくと思う。

⑪生活支援のための人材育成と活躍の場づくり

- ・ どうして参加者が減少したのか知りたい。参加方法(申し込み期日やどこに連絡して良いのか)が IP やネットで探したが見つからず、参加できなかった。
- ・ 「⑪・⑫」合わせて、参加しようと思っていたが、施設での外せない所用があり出席できず申し訳なかった。
- ・ 「⑪・⑫」合わせて、「チームビルディングを学ぶ」の効果と次年度に向けた取り組みで考えている事は？

⑫スキルアップ研修

- ・ スキルアップの向上の為、どんな事を学びたいか開催内容の聞取りをしてみてもうだろうか。
- ・ 全体に言える事だが、何をもって「効果があった」「良い」といえるのか、少し悩むところがある。評価の視点のようなものが、それぞれの事業のところに記載されていると評価しやすいかなと思う。

■基本目標 2

①心配ごと相談・福祉総合相談

- ・ 「①・②」合わせて、相談件数が少ないことは良い事ではあるが、情報提供と目配りと傾聴が必要。

②サロンでの普段着相談

- ・ プライベートな話も聞いてもよろしいのかがわからなく、教えてほしい。
- ・ サロンは良いが、場所が…、参加したいが、メンバーが…などあるのでは？今更入れない等。
- ・ 機会があれば行政相談委員を参加させてほしい

③地域の防災対策の把握

- ・ 何の災害についてのボランティアかがわからなく、災害時の情報共有の手段等を教えてもらいたい。

⑤福祉施設との連携強化

- ・ 「③・⑤」合わせて、今後、自助を含め検討必要。

⑥あずまし食堂の運営

- ・ 月 1 回だが近所のお年寄りには大変好評である。しかし、ボランティアが不足しているとも聞いている。月 2 回開催が良いね！
- ・ 使用したいが、時間が合わない。
- ・ ボランティアなどの一環で、1-⑥の学生の福祉総合学習として、運営側に学生を入れて企画などを考えてもらってもいいのかなと。

⑧フードバンクの設置

- ・フードバンク必要！実施してほしい。
- ・令和5年度行えていないが、あずまし食堂と協力して出来たりしていないだろうかと思った。
- ・困窮世帯や困窮に陥る可能性がある世帯が増えているので、是非とも実施してほしい。

⑨町内会でのサロン

- ・自立運営できているサロン、出来ていないサロンには組織体制にどのような違いがあるのか。また、自立運営できていないサロンに対して、どのようなアプローチをしていくか。

⑩土曜日サロン（障がい者）

- ・参加者が減少しているので、グループホームなどからも参加者を募るよう検討してほしい。
- ・悪天候でも参加していると聞き、障がいのある方には必要な集まりなのだと感じた。

⑪まんまるカフェ

- ・「⑩・⑪」合わせて、参加者が増加したことは良い。

⑫男の料理教室

- ・男の料理教室の参加者が少ないように思う。IPでは参加者募集を見るが、他にもPRや声掛け等しているのか？何の会合もそうだが、女の人の参加者の方が多いように思う。
- ・男の趣味は増やした方が良いので、参加される男性の「趣味」になるような内容を検討すると良いと思う。
- ・保健福祉課で実施している介護予防事業へ参加する男性の方が減少しているところ。男性が集まりやすい場づくり、興味・関心のある事柄を取り入れた事業を実施したいなど考えているところなので、地域に隠れている元気な男性、引きこもりがちな男性…を引っ張り出してくるためにも、社協さんと様々な情報共有をしたいと思った。

⑬オープンサロン

- ・「⑬・⑭月形温泉ホテルを拠点とするあずまし交流プラザの運営」合わせて、この設問の違いがよくわからない。⑭の温泉ホテルを拠点とした…という事業名は変えてもよいのではと思う。また、「あずまし交流プラザ」の運営とあるが、実施内容はあずまし食堂と茶屋について書かれている。これらの拠点をつくるという事であれば実施内容はまた違ったものになるのかもしれないと思う。（例えば、場所を探すために何をしたらか、とか）

⑮地域見守り推進事業

- ・対象者が亡くなっていたケースがあった。予防や早期発見について対策等の必要性があると感じた。

⑯生活支援コーディネーターの運用

- ・ボランティアにどこまでの有償でいくのかがわからなく、教えてほしい。
- ・「⑯・⑰」合わせて、この2つの違いもどう考えたらよいかよくわからなかった。検討委員会は別にあるのか？

⑰検討委員会の運営とモデル事業の実施

- ・「⑯・⑰」合わせて、活動が4件と少なく、ボランティア登録が14名とバランスが悪い。具体的なやれる事を広く周知する事が大切と考える。
 - ・令和4・5年度と生活支援協議会のテーマとしていた有償ボランティアが「ちょびボラ」として形になって良かった。利用はまだ少なく、ボランティアの確保等の課題もあるが、いろいろ試しながら良いものにしていきましょう。
 - ・どうやってちょびボラを浸透させるか計画があるか？
- ・この項目はほぼ4～5の評価をした。行っている事は素晴らしいので、もっと利用される人が増える事、町民に周知することが出来ればより良くなると思う。

■基本目標3

②福祉除雪サービス（町受託事業）

- ・「②・④」合わせて、過去のアンケートで移動や除雪に困っている方が多いと感じている。大変効果があると考ええる。

④福祉有償運送

- ・大変助かっている。これからも続けてほしい。
- ・安価な料金で行っていることは、大変良い。月形はハイヤー事業もあるが、町内の決まった所での対応。そして民間ハイヤー2台のため、すぐ対応出来ないこともある。
- ・福祉有償運送は高齢の方にとってはとてもありがたいサービスだと思う。月形町には必須。
- ・有償運送については、かなりの効果があり、重要な事業になっていると思う。
- ・とても助かっている。冬場の利用者の方が多いのかと思っていたが、雪が降っていなくても通年利用数は変わらず60前後で、オールシーズン、フル活動されているのだと驚いた。

⑥心配ごと相談・福祉総合相談窓口の周知

- ・心配ごと相談等の件数が少ないのは、知っている人には相談しにくい気持ちがあるからなのか？困っている人がきちんとどこかにつながっていればいいと思う。

⑩生活支援サービスの整備、充実・生活支援サービス（有償含む）

- ・介護保険サービス外の生活支援サービスは大事なことだと思うので、多くの住民の方が知ってもらえると良いと思う。
- ・実施件数が少なくても続けてほしい。
- ・ボランティアの周知対策、方法。

■基本目標 4

②福祉情報の提供、社協だより「ふれあい」の発行、ホームページ(SNS、Facebook)等での情報発信

- ・ Xの活動で周知できると担い手不足がなくなるかもと期待している。
- ・ Instagramを活用してはどうか。ストーリー機能を活用すれば動画など簡単に情報を発信できる。どんな人が閲覧したか把握できる。

⑤地域福祉ネットワーク推進協議会の実施、福祉団体・関係機関等との連携

- ・ 世代間交流会には1度も参加していないが、次回もあるなら参加したい内容だった。
- ・ 地域福祉ネットワーク推進協議会、新任職員研修、世代間交流会、スキルアップ研修会、地域福祉ネットワーク推進委員研修、どれも本当に頑張っていると思う。

⑥ボランティアセンターの充実

- ・ 次年度に向けて、担い手不足解消のため町民に周知したいとあるが、これまでの方法では担い手不足を解消できないと思う。みんなで考えたいね。

⑦ボランティアによるボランティアの会議

- ・ 団体ボランティア同士とは、町内外を含めての考え方なのか、町内だけの会議なのかで、ネットワークの広がりが変わってくるのではないかと思う。

⑨関係法人・団体との事業開発、関係法人と組織したあずまし会議の運営

- ・ どのようなことをしているのか具体的に知りたい。

⑩法人体制の整備と強化、職員の育成

- ・ 「⑩・⑪」合わせて、職員が少なく、これだけの事業実施はすばらしいと考える。お手伝いしたい気持ちはあるが、やりきれるか不安があり、二の足を踏んでしまう。
- ・ どの事業所も同じだと思うが、人員確保と育成については検討していく必要がある。
- ・ 会費、一般会員の加入率の向上に努める。
- ・ 他の事業所の者が良し悪しを判断するのは難しい。
- ・ 職員確保の問題、いつも悩みのタネ。少ない人数で多くの事業をこなしていくのは大変だと思うが、保健センターもできる限りの協力をしたいと思うので、一緒に進めていこう。
- ・ 職員が少ないと大変なので、募集を継続して、増える事を願っている。

⑪あずましプラン実施計画の作成、実施および見直しさらに改善

- ・ しっかり見直されていて良いと思う。
- ・ 情報発信が必要なものが多いが、全体的に良い達成度だと思う。